

冬季限定 軽貨物車リース

寒冷地の配達員むけ

ラストワンマイル・パートナース

D&Dグループのラストワンマイル・パートナース（菊池正寛社長、東京都中央区）は、協業先のフードデリバリー大手（Wolt Japan）の配達業務を担う寒冷地のスタッフを対象に、冬の時期に限定した軽貨物車両のリースサービスを提案していく。

ラストワンマイルを手掛ける配達スタッフは自転車で商品を届けるケースが少なくないが、協業会社は身に危険を及ぼす可能性がある冬場の業務で自転車の使用を禁じていることから、

3カ月の短期リースサービスの利用を促す。

同社は7月から同フードデリバリー大手と提携しており、配達スタッフが閲覧する会員専用ホームページにバナー広告を載せ、車両の販売・リース事業をPRしている。これから冬本番を迎えるタイミングで、ドライブレコーダーを装着する特典もアピールしながら、短期リースの需要を精力的に取り込んでいく考えだ。

車両の販売・リース事業は事業エリアを従来の関東

から順次広げているほか、車種のラインアップも段階的に拡充しており、今後更なる業務の拡大を図っていく方針。

併せて、社会貢献活動にも注力する指針に基づき、障がい者の就労を支援する取り組みの一環として、N

PO法人（特定非営利活動法人）に一部事務作業を委託している。

桐村大樹・営業部課長兼リース販売課課長は「D&Dマネージメント（村脇学社長、同）のラストワンマイル事業部を分離し、4月に設立されてから半年余り

が経過したが、ここまでは予想よりも順調に推移している。車両の販売・リース事業に関しては軽貨物車両に特化してきたことに加え、車両の調達力や柔軟な与信がお客さまの共感を呼んでいる。これからは大型車、中型車、普通自動車、家用の軽バンと、取り扱う車種の幅をどんどん広げていく」と話している。

（沢田顕嗣）